

# 日本からアフリカへの 教育支援

W26-00998 花田真実

## 目次

- ・ニジェール「みんなの学校」プロジェクト
- ・カメルーンの小学校建設支援
- ・マラウイ子どもに優しい学校をつくらう
- ・まとめ
- ・参考文献

## ニジェール「みんなの学校」プロジェクト

ニジェール・・・人口1700万人



6割が1日1ドル以下で生活  
初等教育の総就学率 34%(2000年)

<原因>

- ①学校数の不足
- ②教育に対する親の意識の低さ

## 「みんなの学校」プロジェクト (ODA)

<目的> 教育に対する親の低い意識を克服するため  
<内容>

- ・学校運営委員会の委員を民主選挙で選出。
- ・住民自らが学校に関する問題を発見・分析し、解決策、予算化などについて話し合う。

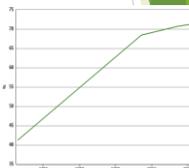


住民が子供の未来について話し合う様子

## カメルーンの小学校建設支援 (ODA)

- ▶ 近年は財政の悪化から、教育施設の老朽化や不足が問題となっていたカメルーン政府から要請を受け、日本は1997年から一貫して小学校建設の支援を行っている。
- ▶ カメルーン基礎教育省のシンドンゴさん「他国からの援助と比較しても、日本の援助はカメルーンに建設技術・管理能力の向上といった目に見えないものを残しています。」と評価。

カメルーン識字率 (1976~2010)



## 子どもに優しい学校をアフリカ、マラウイにつくらう (ユニセフ)

▶ マラウイ・・・人口1600万人



小学校1、2年生の就学数は多いが、修了率が25%(1975年)

<原因>

- ①設備面での問題
- ②指導方法、教員の不足

## ユーコープ「みるく募金」

- ▶ 生活協同組合の宅配や店舗でコープ商品の牛乳1本(1リットル換算)をお買い上げごとに1円を、ユーコープがユニセフとWFPに寄付し、世界の子どもたちを支援する。
- ▶ 現在深刻な教室、トイレ不足で、教員宿舎を必要としている対象の学校で6教室、10個のトイレ、1軒の教員宿舎が建設される。



## まとめ

- ▶ 教科書にもあったように、アフリカでもアジアでも就学率はだんだん上がっている。それは自国の政府が頑張るだけでは限界がある。貧困国では特に先進国からの援助が必要になってくるが、カメルーンの話のように資金援助だけでなく、建築技術や管理など人から人へ伝える援助も大切である。

## 参考文献

みんなの学校プロジェクト

- ▶ <http://www.jica.go.jp/oda/project/110256/index.html>
- ▶ [http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/07\\_hakusho/colum/colum05.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/07_hakusho/colum/colum05.html)

カメルーンの小学校建設支援

- ▶ [http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/10\\_hakusho/colum/colum02.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/10_hakusho/colum/colum02.html)
- ▶ [http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kunil/camer\\_1.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kunil/camer_1.html)

子どもに優しい学校をつくらう

- ▶ [http://www.uccop.or.jp/shuuhin/shoku/shokupo/cr/milk\\_bokun/junicef\\_africa.html](http://www.uccop.or.jp/shuuhin/shoku/shokupo/cr/milk_bokun/junicef_africa.html)